

2021

講義要目 SYLLABUS

産業デザイン科



令和3年4月

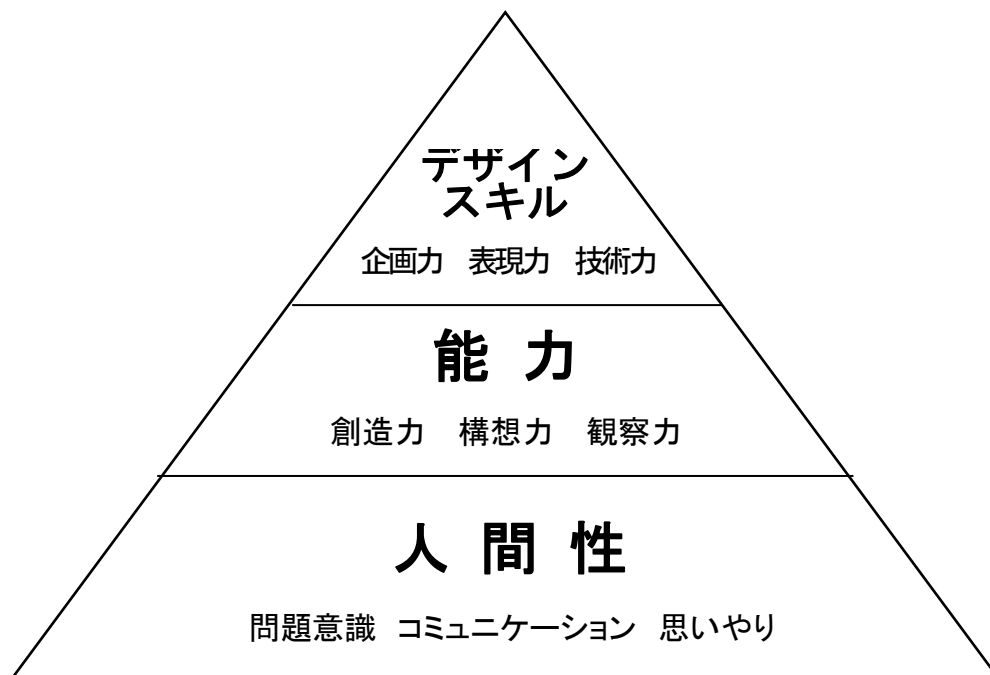
岩手県立産業技術短期大学校

Iwate Industrial Technology Junior College

Yahaba Campus

## 産業デザイン科からのメッセージ (産業デザイン科教育方針)

デザインは、長年にわたって製品の販売促進や付加価値を高める役割を担ってきました。そして、近年の少子高齢化や環境問題、経済など社会の変化に伴い、デザインの在り方は「もの」に対するビジュアル重視のイメージから、人間の暮らしを支え、人と人とを結びつける「こと」をつくり出す手法として期待されています。デザインの考え方は多様な産業に応用できるため、社会的役割はますます多くの分野へ広がっています。



デザインを行う上でベースとなるものは「人間や社会に対する興味関心」、そして「相手を思いやる心」と考え、産業デザイン科では「相手を思いやる心」を理念としてデザイン教育を行っています。

思いやりの心を持って人々の生活を観察し、その状況を改善するために必要な創造力や構想力、観察力の「能力」、企画力、表現力、技術力等の「デザインスキル」を養います。

スキル教育は、手作業と最新技術を活用した「ものづくり」で作業手法と作業効率の基礎を、「ことづくり」として企画立案のプロセスを、課題に取り組む中で体験します。

また、デザインの過程において必要なコミュニケーション能力や社会人として必要な基礎力の習得も重視し、挨拶や連絡などの日常の交流から指導を行っています。

このように、産業デザイン科では専門職としてのデザイナー養成ばかりではなく、製造現場や、企画、販売といったサービス業にいたるまで、幅広い職場でデザインの感性と手法を応用し、活用することで企業に貢献できる人材育成を目指しています。

産業デザイン科

	履修科目	単位数	1年次		2年次		記載No.	
			I期	II期	III期	IV期		
一般教育科目	職業社会論	2		2			4001	
	心理学	2	2				4002	
	経済学	2		2			4003	
	数学	2	2				4004	
	物理学	2		2			4005	
	英語 I	2	2				4006	
	英語 II	2		2			4007	
	保健体育 I	2	2				4008	
	保健体育 II	2		2			4008	
	保健体育 III	2			2		4008	
一般教育科目合計	20	8	10	2				
専門教育科目	デザイン概論	4	*) 4				4009	
	マルチメディア概論	2	*) 2				4010	
	ウェブデザイン概論	2	*) 2				4011	
	造形論	2	*) 2				4012	
	色彩学	2	*) 2				4013	
	デザイン材料	2		2			4014	
	デザイン史	2				2	4015	
	生産工学	2				2	4016	
	安全衛生工学	2	2				4017	
	デザイン関係法規	2				2	4018	
	製品デザイン論 I	2		(P)*) 2			4019	
	製品デザイン論 II	2		2			4020	
	実践デザイン論	2			2		4021	
	視覚伝達デザイン	2		(I)*) 2			4022	
	製品計画論	2			(P)*) 2		4023	
	感性工学	2			2		4024	
	材料加工法	2		2			4025	
	環境デザイン	2				2	4026	
	視覚伝達計画	2			(I)*) 2		4027	
	伝統工芸論	2			2		4028	
	造形実習	4	*) 4				4029	
	デザイン	3	*) 3				4030	
	色彩実習	4	*) 4				4031	
	デザイン製図	2		*) 2			4032	
	マルチメディア実習	4	*) 4				4033	
	安全衛生作業法			他の実技に包括して実施				
	製品デザイン基礎実習 I	2	*) 2				4034	
	製品デザイン基礎実習 II	13		*) 13			4035	
	製品デザイン応用実習	19			19		4036	
	視覚伝達デザイン実習	2		2			4037	
	プレゼンテーション実習	2				2	4038	
	モデル制作実習	2			(2C) 2		4039	
	材料加工実習	2		(1C) 2			4040	
伝統工芸実習	4			4		4041		
製品計画実習	2			2		4042		
卒業研究	29				*) 29	4043		
専門教育科目合計	136	31	29	37	39			
合計 ( ) 内 : 必取得単位数	156	39	39	39	39	((P) 77)		

注1) \*記号は必取得単位数科目[P:生活製品コース、I:情報伝達コース]を示す。

注2) (C)記号はキャリア指導充当を示し、数字は学年を示す。

注3)  の科目はコース分けをして実施する。

((I) 77)

年度	2021	科目番号	4001
科目名	職業社会論	科目種別	一般
科目名：英語	Occupational Sociology	所属	産業デザイン科
担当教員名	金野 馨／及川 敦子		
開講学期／単位数	Ⅱ期／2 単位（20 回）		
授業の到達目標	<p>(1) 職業人として必要な知識と基本的素養を習得する。就職活動に必要な知識とスキルを習得する。特に、産業社会と働き方の大きな変化を知り、就職活動の参考にすることを旨とする。</p> <p>(2) 社会人として仕事をしていく上での自覚と行動を考える。対人関係をスムーズにするために表情・身だしなみ・立ち居振る舞いを見直し実行できる。コミュニケーションの理論と実践を理解し実行できる（聴く話す力、チームコミュニケーション、情報共有、チームワーク等）。社会における人間力と社会人基礎力を理解する。</p> <p>(3) (1) (2)の内容を踏まえ、それぞれのニーズにあった企業とのマッチングの実現に向け、就職活動に必要な実践力を身につける。</p>		
授業の概要	<p>(1) 職業人としての心構えと、就労と就職活動に必要な知識とスキルについて学ぶ。</p> <p>(2) 講義と演習と通じ、社会人としての行動スキルとコミュニケーション能力を身につけ、相手の立場を考えた気遣いが出来る為の基礎力を習得する。</p> <p>(3) 就活力を高めるために、就職支援セミナーなどを行う。</p>		
キーワード	「働き方」改革、AI 産業革命、就職活動、SDGs、DX、正しい日本語、コミュニケーション		
授業計画	<p>第 1 回 新しい視点で仕事や働き方の全体像を見る ① 産業社会構造・企業の変化と新卒就職・一般就職の採用のあり方の変化 ② 「働く」こと再考（「働き方」改革やAI など技術超革新について） ③ 雇用環境に対応した効果的な就職活動の仕方</p> <p>第 2 回 新卒者採用のポイント働き続けるために必要なこと ① 企業適応だけの人材は不要 ② 新卒者にとっての社会・仕事適応力とは何か ③ 新しい労働関係のルール</p> <p>第 3 回 新卒者就職活動のポイント ① カタチだけの就職活動では通用しない ② なぜ新卒就職が大切なのか ③ 仕事・企業の探し方と決め方・求人表の見方 ④ 応募書類作成・面接試験対応のポイント（対面・オンライン）</p> <p>第 4 回 コミュニケーションの基本 第 5 回 きれいな発声と発音 第 6 回 正しい日本語 第 7 回 話すときの心構え、ビジネスマナーの基本、冠婚葬祭のマナー 第 8 回 効果的な話し方、面接対応 第 9 回 効果的な表現力、お茶の出し方・入れ方のマナー 第 10 回 聞くことの重要性 第 11～20 回 就職ガイダンス 企業研究（説明会等） 就職セミナー 職業講話（各科対応） 志望動機・自己PR・面接対策等</p>		
教科書、教材等	(1) (3)オリジナル教材(2)「コミュニケーション技法（株ウィネット発行）」、オリジナル教材		
授業の形式	(1)講義(2)テキストに沿った講義、発言やプリント等によって演習を行う(3)講話及び個別指導		
成績評価の方法	課題演習、課題テスト、主体的な授業参加度等で評価する。		
履修の留意点	(1)は金野講師（第1回～第3回）、(2)は及川講師（第4回～第10回）、(3)は科就職担当（第11回～20回）が担当。回は前後する場合がある。		
参考・推薦図書等			

年度	2021	科目番号	4002
科目名	心理学	科目種別	一般
科目名：英語	Psychology	所属	産業デザイン科
担当教員名	山崎 剛信		
開講学期／単位数	I期／2単位（20回）		
授業の到達目標	知覚、学習、個人差、発達、社会など心理学の基礎について学ぶことで、感性、創造力、問題解決能力を養い、自身の専門分野、仕事、日常生活に生かせるようになる。		
授業の概要	プリントやビデオを用いながら、講義形式を進める。 適宜レポートを課し、講義で学んだことを、授業時間外でも考えてもらう。		
キーワード	認知、感情、集団、ストレス		
授業計画	<p>◎心と適応の問題について</p> <p>第1回 心理学とは 第2回 心の進化 第3回 心の発達 第4回 青年期の課題 第5回 動機づけ 第6回 性格 第7回 知能 第8回 ストレスとメンタルヘルス 第9回 カウンセリングと心理療法</p> <p>◎心のしくみについて</p> <p>第10回 感覚 第11回 知覚 第12回 記憶 第13回 学習 第14回 思考 第15回 脳 第16回 脳損傷と心 第17回 集団のなかの人 第18回 心と社会 第19回 試験 第20回 まとめ</p>		
教科書、教材等	なし		
授業の形式	講義形式、適宜ディスカッションをはさむ。		
成績評価の方法	試験、主体的な授業参加度、提出物を総合的に評価する。		
履修の留意点			
参考・推薦図書等			

年度	2021	科目番号	4003
科目名	経済学	科目種別	一般
科目名：英語	Economics	所属	産業デザイン科
担当教員名	古川 光彌太		
開講学期／単位数	Ⅱ期／2 単位（20 回）		
授業の到達目標	<p>新型コロナの蔓延によって、断密が指示され人々は感染していなくても個人として分離され、現在の技術変化を早急に組み込んだ生活様式に切り替えなければならなくなった。個人としてどのような変化となり、また技術の利用でどのように対応していくか？家庭・職場・社会の変化を考察していく。</p> <p>スマホでの QR 決済、スマホの自動翻訳ソフトで外国語会話、健康管理のスマートウォッチ、技術力を高めるスポーツ用具、ドローンによる測量、スマート家電、スマート・ハウスとして IoT の組み込まれた建築設備、スマート工場に至っては設備と製品に IoT が組み込まれ、サプライチェーンやバリューチェーンが見える経済社会構造になろうとしている。そして、スマホ決済は個人の行動と食料品の嗜好までデータとして掌握され、これらのデータは、AI で深層学習として我々に指針を提示してきている。身近な経済行為の時代的变化とその背後の様々な条件変化が、経済・社会組織への影響を理解する一助となればと考えている。</p>		
授業の概要	<p>パソコンとプロジェクトを利用して、様々な情報検索と文字・画像情報を観察し、言語化の作業を通じて、コミュニケーションの基盤を作れるようなアクティブラーニングの時間を作るつもりである。このため、次週の授業概要及び資料・情報源を示し、授業の後半で簡単な討論形式の時間を持つようにしたい。また、授業での感想を作れるような受講姿勢をとってもらいたい。</p> <p>スマホからの情報収集とそれについての簡単なまとめも作業の一部に考えたい。特に、新商品情報や作業・運用情報は視覚でとらえ、言語化して説明を試みるという共通意識の対話基盤が求められる。好奇心と新情報への観察眼を鍛えることは、直感的な改善力の基礎を作れるようにも思える。ただし、入門基礎の部分を怠っては危険な思い付き行動となってしまう。このことに注意し、人間の感性も大事に捉えたいと思っている。</p>		
キーワード	IoT、ビッグデータ、AI、5G、RPA、API、フィンテック、シェアリングエコノミー		
授業計画	<p>第 1 回 経済生活とは、欲求と欲望、コロナによる欲求の五段階説の崩壊</p> <p>第 2 回 AI と管理社会、欲望と管理、日記の書き方（吾・汝・それら・社会と世間）</p> <p>第 3 回 食糧生産と生活環境、フードシステムと IoT、SDGs 社会での経済環境</p> <p>第 4 回 サプライチェーンと物流市場、生産の標準化、インダストリー 4. 0</p> <p>第 5 回 インダストリアル・インターフェース、情報の社会特性（伝播関係、M&amp;A）</p> <p>第 6 回 資源経済とマテリアル・複合素材（合成比率）、複合素材の生産関数</p> <p>第 7 回 ソサイエティ 5. 0、人とモノのソーシャル・ネットワーク（行動の判断基準）</p> <p>第 8 回 機械と人間の生産性、品質・精度・生産管理、加工品の生産関数、精度と洗浄</p> <p>第 9 回 企業経営とマーケティング、企業間のネットワーク（物流網・情報網）</p> <p>第 10 回 決済（期間概念）、信用と金利、クラウド・ファンディング、フィンテック</p> <p>第 11 回 市場競争とコーポレート・ガバナンス、モラル・公正、援助・シェアリング</p> <p>第 12 回 予測と期待、デジタル社会、ICT 社会環境と教育、テレワーク、働き方改革</p> <p>第 13 回 家計の選択行為（感情・思考と行動）、仲買人市場、QR コード、需要と供給</p> <p>第 14 回 生産とマーケティング、ビッグデータと AI 管理、マクロ経済学、SDGs</p> <p>第 15 回 国家と経済政策（金融政策、社会政策、財政政策）、貯蓄と投資、MMT 理論</p> <p>第 16 回 グローカルな情報発信、情報の生産関数、格差・平等、ICT インフラ環境</p> <p>第 17 回 労働市場の変化、RPA、移民・外国人労働者、働き方改革（労働環境の変化）</p> <p>第 18 回 国民と国家（指導者と政府）、経済循環と地域環境、経済人の意識</p> <p>第 19 回 試験</p> <p>第 20 回 試験の解説と現代の経済的話題</p>		
教科書、教材等	山本康正『次のテクノロジーで世界はどう変わるのか』講談社現代新書		
授業の形式	スクリーン映像利用の講義形式		
成績評価の方法	期末試験・新聞ニュースの感想文提出		
履修の留意点	TV ニュースの観察と簡単な予習		
参考・推薦図書等	一般的な経済学入門書		

年度	2021	科目番号	4004
科目名	数学	科目種別	一般
科目名：英語	Mathematics	所属	産業デザイン科
担当教員名	本田 卓		
開講学期／単位数	I 期／2 単位 (20 回)		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常生活の中に潜む数学の美しさや楽しさにふれ、数学的な見方や考え方が身につくとともに、数学に対する興味・関心が高まる。</li> <li>・ 事象を数学的な見方や考え方でとらえられるようになること。</li> <li>・ 課題に対して、自分なりの工夫をしたり、多様な見方ができるようになる。</li> </ul>		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまで学習した数学の内容をさらに深めたり、日常生活の中に潜んでいる事柄の背景にある数学的な内容について考えたりしていく。数学の難問を解くのではなく、時に手を動かしながら、時に数学的なアイデアを探りながら、時には周囲と意見を交わしながら、展開していく。そのような活動を通して、数学の学習内容をより確かなものにしていったり、数学的な見方や考え方を次第に身につけていったりすることをねらっていく。</li> <li>・ 中学校数学科や高等学校数学 I 程度の学習内容をもとに、数学 A・数学 II・数学 B の内容についても触れていく。</li> </ul>		
キーワード	数学的活動、数学の楽しさ・大切さ、ハンズオン・マス、数学的な見方や考え方		
授業計画	第 1 回 「数学」について 第 2 回 証明とは？ルイスキャロルの挑戦状 ① 第 3 回 証明とは？ルイスキャロルの挑戦状 ② 第 4 回 自然数と無限、アキレスと亀のパラドックス ① 第 5 回 自然数と無限、アキレスと亀のパラドックス ② 第 6 回 実数の不思議、数と量 ① 第 7 回 実数の不思議、数と量 ② 第 8 回 関数とは ① 第 9 回 関数とは ② 第 10 回 中間課題 第 11 回 三角関数の歴史、トレミーから現代へ ① 第 12 回 三角関数の歴史、トレミーから現代へ ② 第 13 回 対数の発見、ネイピアの挑戦 ① 第 14 回 対数の発見、ネイピアの挑戦 ② 第 15 回 確率の哲学、確率とは何か？ ① 第 16 回 確率の哲学、確率とは何か？ ② 第 17 回 デザインと曲線、ベジェ曲線 ① 第 18 回 デザインと曲線、ベジェ曲線 ② 第 19 回 期末試験 第 20 回 期末試験の解答と解説		
教科書、教材等	自作教材を中心に展開するが、高等学校数学 I・数学 A・数学 II・数学 B の教科書を持っている者は手元に置いておくとよい。		
授業の形式	講義と演習を併用しながら、毎回、問題解決型の授業を展開していく。数学の難問を解くのではなく、数学的なアイデアを出し合い、それを共有していくことを原則とする。		
成績評価の方法	授業時の課題・中間課題・期末試験による評価（授業に対する意欲を重視する。）		
履修の留意点	毎回、授業の中で課題を行う。問題が解けたかどうかよりも、その問題を通して「何を学ぶことができたか」を重視する。		
参考・推薦図書等			

年度	2021	科目番号	4005
科目名	物理学	科目種別	一般
科目名：英語	Physics	所属	産業デザイン科
担当教員名	金子 芳久		
開講学期／単位数	Ⅱ期／2単位（20回）		
授業の到達目標	一般教養としての物理の基礎が身につく。光の科学、波動、力学、そして量子力学まで、広範囲の物理を学ぶ。可能な限り専門課程を意識しながら、光学や力学に多くの時間をかけて学び、光の反射や屈折とニュートン力学や重力による安定性などを理解する。		
授業の概要	学生間には物理の学力に大きな格差がある。これを埋めながら、学力・知識が低水準の学生のアップをはかり、高水準の学生が停滞することなく、高いレベルに達するように、授業を進める。そのために、講義は身近な物理現象を取り上げ、可能な限り小さな実験をして、それを解説する形式ですすめる。1回の講義のなかで、6分の5を講義にして、残りを演習にする。さらに、小テストを数回行う。		
キーワード	光とは、電磁波、光の屈折、ニュートンの力学、小テスト		
授業計画	第 1 回 物理の学力の調査、物理学の発展の道筋 第 2～6 回 光の科学 光とは何か？、光の屈折、全反射と光ファイバー、凸レンズと凹レンズ 第 7～9 回 波動 横波と縦波、正弦波、波のエネルギー、音波、音の三要素、うねり、弦の振動、ドップラー効果、定常波 第 10～17 回 力学 速度・加速度・移動距離、自由落下と慣性運動、水平方向への投射、運動の記述とベクトル、ニュートンの三法則、ケプラーの法則、花火の力学、運動量とエネルギー、運動量保存の法則、物体の回転、重力によるすわりの安定性、トルク、角運動量の保存則 第 18 回 量子力学とは 第 19 回 期末試験 第 20 回 期末試験の解答		
教科書、教材等	物理学の基礎（東京教学社）		
授業の形式	講義、演習、小テストを行う。		
成績評価の方法	期末試験と小テストの採点結果による。		
履修の留意点	演習と小テストを丁寧に取り組むこと。小さな実験にも注目。		
参考・推薦図書等	新物理学入門 大槻義彦著 学術出版		



年度	2021	科目番号	4006
科目名	英語 I	科目種別	一般
科目名：英語	English I	所属	産業デザイン科
担当教員名	ハリス・アンドリュウ		
開講学期／単位数	I 期／2 単位（20 回）		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英語で物や場所、考えを説明し表現できる。</li> <li>・ 意見と経験を英語で表現できる。</li> <li>・ 人前で自信を持って英語を使える。</li> <li>・ 創造力と英語力を同時に使えるようになる。</li> </ul>		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リスニング</li> <li>・ 会話</li> <li>・ 読解</li> <li>・ 書き方の練習</li> <li>・ ビデオ、パワーポイントを使用してのプレゼンテーション</li> <li>・ プレゼンテーション、ビデオプレゼンテーション</li> <li>・ 議論</li> <li>・ ペアワーク、グループアクティビティ</li> </ul>		
キーワード	プレゼン、意見、感情表現、説明		
授業計画	<p>生活と仕事の英語</p> <p>第 1-4 回：初回・顔合わせ； 仕事についての話し；関心を払うビデオプレゼン 1 自己紹介、 ビデオプレゼン 2 将来の目標</p> <p>第 5-7 回：日常生活の活動状況 ビデオプレゼン 3 日課</p> <p>第 7-9 回：現在の個人的イベント； 詳細を聞く；情報の追加 小テスト ビデオプレゼン 4 最近の出来事</p> <p>第 10-12 回：影響力のある人々</p> <p>第 13-15 回：メインプレゼンテーション『私の尊敬する人』の準備・発表</p> <p>第 16-17 回：計画を立てる；感情表現、意見；理由の提示</p> <p>第 18-20 回：試験・解説</p>		
教科書、教材等	<p>Stretch Level 1:</p> <p>Student book with Online Practice. Susan Stempleski OXFORD university press ISBN 978-0-19-460312-6</p> <p>Workbook ISBN 978-0-19-4603249</p>		
授業の形式	教科書または各科提供教材に準じて講義を進め、会話練習をペアワークで行う。		
成績評価の方法	ミニテスト、プレゼンテーション、ビデオプレゼンテーション、レポート、試験		
履修の留意点	授業以外でも積極的に復習すること。		
参考・推薦図書等			

年度	2021	科目番号	4007
科目名	英語Ⅱ	科目種別	一般
科目名：英語	EnglishⅡ	所属	産業デザイン科
担当教員名	ハリス・アンドリュウ		
開講学期／単位数	Ⅱ期／2単位（20回）		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語で物や場所、考えを説明し表現できる。</li> <li>・意見と経験を英語で表現できる。</li> <li>・人前で自信を持って英語を使える。</li> <li>・創造力と英語力を同時に使えるようになる。</li> </ul>		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスニング</li> <li>・会話</li> <li>・読解</li> <li>・書き方の練習</li> <li>・ビデオ、パワーポイントを使用したプレゼンテーション</li> <li>・プレゼンテーション、ビデオプレゼンテーション</li> <li>・議論</li> <li>・ペアワーク、グループアクティビティ</li> </ul>		
キーワード	プレゼン、意見、感情表現、説明		
授業計画	<p>生活と仕事の英語</p> <p>第 1-3 回：最近のイベントについて語る ビデオプレゼン 1 私の週末</p> <p>第 4-7 回：場所の説明；表現の選択 ビデオプレゼン 2 私の近所</p> <p>第 8-11 回：健康問題とアドバイス；図表の使用 小テスト</p> <p>第 12-14 回：都市の説明； 驚きの表現；記述形容詞ビデオプレゼン 3 健康のアドバイス</p> <p>第 15-16 回：メインプレゼンテーション『お勧めの場所』準備・発表</p> <p>第 17-18 回：音楽のスタイルと意見； 招待；ボディランゲージ</p> <p>第 19-20 回：試験、解説</p>		
教科書、教材等	<p>Stretch Level 1: Student book with Online Practice. Susan Stempleski OXFORD university press ISBN 978-0-19-460312-6</p> <p>Workbook ISBN 978-0-19-4603249</p>		
授業の形式	教科書または各科提供教材に準じて講義を進め、会話練習をペアワークで行う。		
成績評価の方法	ミニテスト、プレゼンテーション、ビデオプレゼンテーション、レポート、試験		
履修の留意点	授業以外でも積極的に復習すること。		
参考・推薦図書等			

年度	2021	科目番号	4008
科目名	保健体育 I・II・III	科目種別	一般
科目名：英語	Health and Physical Education I・II・III	所属	産業デザイン科
担当教員名	去石 匡樹		
開講学期／単位数	I期／2単位（20回）・II期／2単位（20回）・III期／2単位（20回）		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯スポーツを実践するための知識と技能を習得する。</li> <li>・自らの健康を適切に管理し、これからの健康課題に対処していくための資質や能力を育成する。</li> </ul>		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種目、技能レベルによってグループに分け、それぞれに課題を与えて解決を図っていく。また、各時間の最後はゲームを行い、課題解決の程度を確認する。</li> <li>・保健体育 I、II では途中に実験を行い、有効な練習方法等を探っていく。</li> <li>・期末には保健の授業を行い、これからの健康課題の把握、解決方法の習得を目指し、将来に向けたヘルスプランの構築を図る。</li> </ul>		
キーワード	体づくり、球技、スポーツの意義、救急処置の仕方		
授業計画	<p>[保健体育 I]</p> <p>第 1 回：オリエンテーション（体育理論）</p> <p>第 2～16 回：① ネット型スポーツ「バレーボール」「バドミントン」「テニス」「卓球」 ② ゴール型スポーツ「バスケットボール」「サッカー（フットサル）」「ハンドボール」 ③ ベースボール型スポーツ「ソフトボール」 上記 3 型スポーツから種目選択をして、スキルチェック、課題提示及び解決、ゲームを実践する。</p> <p>第 17 回：実技テスト</p> <p>第 18・19 回：保健</p> <p>第 20 回：筆記テスト（保健）</p> <p>[保健体育 II]</p> <p>第 1 回：オリエンテーション（体育理論）</p> <p>第 2～16 回：① ネット型スポーツ「バレーボール」「バドミントン」「卓球」 ② ゴール型スポーツ「バスケットボール」「フットサル」「ハンドボール」 上記 2 型スポーツから種目選択をして、スキルチェック、課題提示及び解決、ゲームを実践する。</p> <p>第 17 回：実技テスト</p> <p>第 18・19 回：保健</p> <p>第 20 回：筆記テスト（保健）</p> <p>[保健体育 III]</p> <p>第 1 回：オリエンテーション</p> <p>第 2～9 回：① ネット型スポーツ「バレーボール」「バドミントン」「テニス」「卓球」 ② ゴール型スポーツ「バスケットボール」「サッカー（フットサル）」「ハンドボール」 ③ ベースボール型スポーツ「ソフトボール」 上記 3 型スポーツから種目選択をして、スキルチェック、課題提示及び解決、ゲームを実践する。</p> <p>第 10～17 回：各種目の大会</p> <p>第 18・19 回：保健</p> <p>第 20 回：筆記テスト（保健）</p>		
教科書、教材等	自作プリント、パワーポイント		
授業の形式	実技又は講義により授業を進める。		
成績評価の方法	主体的な授業参加度、課題の解決状況、実技テスト、筆記試験及びレポート等で評価する。		
履修の留意点	実技中にケガ等起こさないよう、体調管理に気をつけること。		
参考・推薦図書等			

年度	2021	科目番号	4009
科目名	デザイン概論	科目種別	専門（必取得）
科目名：英語	Introduction to Design	所属	産業デザイン科
担当教員名	氏家 亨／金田 麻由美		
開講学期／単位数	I 期／4 単位（40 回）		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デザインに関する歴史や制度が理解できる</li> <li>・ デザインの基本理念と役割が理解できる</li> <li>・ それらを踏まえ、デザイン制作に活かすことができる</li> <li>・ デザインの考え方と作業の流れを理解した演習ができる</li> <li>・ 職業としてのデザインができる</li> </ul>		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活の場におけるデザインの意義、またその役割や理念について学ぶ</li> <li>・ デザイン業の概要や種類について学ぶ</li> <li>・ 知識だけではなく問題の発見、解決策の発想法なども学ぶ</li> <li>・ デザイン活動に必要な要素や身に付けるべき能力についてグループワークによる演習を交えて解説する</li> </ul>		
キーワード	グラフィックデザイン、プロダクトデザイン、web デザイン、企画、プレゼンテーション		
授業計画	<p>第 1 回 講義内容の紹介</p> <p>第 2,3 回 デザインとは</p> <p>第 4,5 回 情報を伝える（視覚）</p> <p>第 6,7 回 生活と産業 - 工業・工芸・生活製品</p> <p>第 8,9 回 デザインの仕事（デザインに関わる仕事）、デザイナーの職能</p> <p>第 10～13 回 教員が考えるデザイン</p> <p>第 14 回 現在のデザイン（デザインの現状）</p> <p>第 15 回 これまでのデザイン（デザインの歴史）</p> <p>第 16 回 これからのデザインの役割</p> <p>第 17 回 デザインに関わる用語など</p> <p>第 18～20 回 まとめ</p> <p><b>【演習】</b></p> <p>第 1 回 演習内容の紹介、演習課題の提示</p> <p>第 2 回 デザインプロセス</p> <p>第 3,4 回 調査手法</p> <p>第 5,6 回 分析と整理</p> <p>第 7,8 回 問題解決の考え方</p> <p>第 9,10 回 問題解決手法</p> <p>第 11 回 情報構造の考え方</p> <p>第 12～14 回 デザイン表現の手法</p> <p>第 15～17 回 プレゼンテーション</p> <p>第 18 回 評価とフィードバック</p> <p>第 19～20 回 演習のまとめ</p>		
教科書、教材等	心を動かすデザインの秘密 認知心理学から見る新しいデザイン学（著：荷方邦夫、出版：実務教育出版）、世界はデザインでできている（著：秋山具義、出版：筑摩書房）、HELLO, DESIGN 日本人とデザイン（著：石川俊祐、出版：幻冬舎）、自作プリント		
授業の形式	自作プリントに従って授業を進め、演習を行う。		
成績評価の方法	レポート、授業と演習への参加度（積極性）で評価する。		
履修の留意点	演習でのデザインプロセス（調査～分析）は実習に必要なものとなるので、意識して取り組むこと。		
参考・推薦図書等			

年度	2021	科目番号	4010
科目名	マルチメディア概論	科目種別	専門（必取得）
科目名：英語	Introduction to Computer Design	所属	産業デザイン科
担当教員名	金田 麻由美／小岩 真佳		
開講学期／単位数	I期／2単位(20回)		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンピュータの仕組みを理解し、簡単に説明することができる</li> <li>・ コンテンツ制作におけるコンピュータの関わりについて基本的なことが理解できる</li> <li>・ ハードウェアとソフトウェアの違いを理解できる</li> <li>・ コンピュータの基本的な設定ができる</li> <li>・ 印刷物やウェブサイトなどで使われる画像を適切に選択し、使用することができる</li> <li>・ 印刷物やウェブサイトなどで使われる単位について適切に選択し、使用することができる</li> <li>・ プリンタを使って印刷することができる</li> <li>・ スキャナを使って画像やスケッチ、イラストなどをコンピュータに取り込むことができる</li> <li>・ 描画ソフトと画像編集ソフトを連携して印刷物やウェブサイトで使用データの作成、編集ができる</li> <li>・ インターネットの仕組みを簡単に説明できる</li> <li>・ インターネットを利用して情報収集を行い、その情報との関わり方を自分でコントロールすることができる</li> <li>・ コンピュータやインターネットが、どのように私たちの生活に影響してきたのかを理解できる</li> <li>・ 新しい技術など、これからの技術に対応するための準備ができる</li> </ul>		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンピュータを使った作業を行うための基礎知識を学ぶ</li> <li>・ コンピュータの仕組みについて学ぶ</li> <li>・ コンピュータの周辺機器について学ぶ</li> <li>・ ソフトウェアの種類やその活用について学ぶ</li> <li>・ インターネットの仕組みについて学ぶ</li> <li>・ 印刷物やウェブサイトのデータ作成に必要な知識を学ぶ</li> <li>・ 複数のメディアを使ったデザインの展開方法について学ぶ</li> <li>・ これからの新しい技術やそれらの活用事例などについて学ぶ</li> </ul>		
キーワード	コンピュータ、インターネット、DTP、ハードウェア、ソフトウェア		
授業計画	第 1 回 授業内容の紹介/パソコンの使い方 第 2 回 インターネットツールの使い方 第 3,4 回 パソコンの基礎知識（ハードウェアとソフトウェア） 第 5,6 回 マルチメディアの基礎知識（描画、画像編集の基礎知識） 第 7,8 回 マルチメディアの基礎知識（画像の種類、色数、単位など） 第 9 回 描画ソフトと画像編集ソフトの連携 第 10,11 回 各種周辺機器の基礎知識（プリンタ、スキャナ） 第 12,13 回 インターネットの基礎知識 第 14,15 回 ネットリテラシー 第 16 回 これからのマルチメディアを取巻く環境（AI、IoT、先端技術） 第 17 回 コンピュータの歴史 第 18～20 回 期末試験、まとめ		
教科書、教材等	自作プリント		
授業の形式	自作プリント、教材によって授業を進める。		
成績評価の方法	期末試験及びレポート、授業への参加度（積極性）で評価する。		
履修の留意点			
参考・推薦図書等			

年度	2021	科目番号	4011
科目名	ウェブデザイン概論	科目種別	専門 (情報伝達必取得)
科目名 : 英語	Introduction to Web Design	所属	産業デザイン科
担当教員名	氏家 亨 / 小岩 真佳 / 北條 恭子		
開講学期 / 単位数	I 期 / 2 単位 (20 回)		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ インターネット環境の基本的なことが理解できる</li> <li>・ HTML とスタイルシートを使って簡単なウェブサイトを構築できる</li> <li>・ ウェブサイトにつかわれるデータを適切に編集・使用できる</li> <li>・ ウェブサイト構築、ウェブデザイン、ウェブプログラミングなど、情報発信にかかる業務への就職を検討することができる</li> </ul>		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ウェブサイトを構築するための技術について、基本的なことを学ぶ</li> <li>・ ウェブサイトの仕組みを学ぶ</li> <li>・ インターネットの仕組みを学ぶ</li> <li>・ ウェブサイト構築の流れを学ぶ</li> <li>・ ウェブサイトのデータを制作するための技術について学ぶ</li> <li>・ ウェブサイトに使われるデータの編集方法を学ぶ</li> <li>・ ウェブサイトを通して、どのような情報発信が可能になるのかを学ぶ</li> </ul>		
キーワード	ウェブ、サイト、ホームページ、インターネット、HTML、CSS		
授業計画	第 1 回 授業内容の紹介 第 2,3 回 ウェブサイトの仕組み、タグについて 第 4,5 回 HTML の基礎 (文書の構造化) 第 6~8 回 スタイルシート 第 9~12 回 サイト制作演習 第 13 回 ファイルのリンク、画像の種類と特徴 第 14 回 HTML5 の要素とカテゴリ 第 15~17 回 ポートフォリオサイトの作成 (自己紹介) 第 18~20 回 期末試験、まとめ		
教科書、教材等	Web デザイン基礎入門 (著: 栗谷幸助 ほか、出版: MdN)、自作プリント		
授業の形式	教科書及び自作プリントによって授業を進める。		
成績評価の方法	期末試験 (学科・実技)、授業への参加度 (積極性) で評価する。		
履修の留意点			
参考・推薦図書等			

年度	2021	科目番号	4012
科目名	造形論	科目種別	専門
科目名：英語	Theory of Design Composition	所属	産業デザイン科
担当教員名	阿部 優子		
開講学期／単位数	I 期／2 単位 (20 回)		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デザインの基礎知識として、形を構成する要素とその心理的効果、画面構成や表現の手法について理解することにより、デザイン制作の作業に必要な知識を活かすことができる</li> </ul>		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デザイン構成の基礎的な意味合い、構成のための要素、構成によって生じる心理的効果について学ぶ</li> <li>・ 様々な構成技法とその統合による総合的な制作手法について学び、個々のデザインワークに反映する知識を学ぶ</li> </ul>		
キーワード	デザインと構成、構成エレメント、構成と心理、構成手法、制作手法		
授業計画	第 1 回 講義内容の紹介 第 2～3 回 デザインと構成 第 4～6 回 構成要素 第 7～8 回 構成と心理 第 9～13 回 構成手法 第 14～15 回 制作手法 第 16～17 回 事例研究 第 18 回 まとめ 第 19 回 期末試験 第 20 回 期末試験解説		
教科書、教材等			
授業の形式	教科書・資料等の PowerPoint 提示説明を中心とした座学		
成績評価の方法	期末試験で評価する。		
履修の留意点			
参考・推薦図書等			

年度	2021	科目番号	4013
科目名	色彩学	科目種別	専門（必取得）
科目名：英語	Science of Color	所属	産業デザイン科
担当教員名	北條 恭子		
開講学期／単位数	I 期／2 単位(20 回)		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 科学、生理学、心理学、芸術学など様々な角度から学ぶことで、色彩の概念を理解することができる</li> <li>・ 色彩とは何か、色彩が人間の感情にどのような効果をもたらすかを理解できる</li> <li>・ 基礎知識を得た上で、色の特性や効果をデザインに有効かつ自在に活用することができる</li> </ul>		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 光と色の関係を理解し、人が色を感じるメカニズムや色が人体に与える影響について学ぶ</li> <li>・ 代表的な表色系と色の三属性について学ぶ</li> <li>・ 人間の視感覚や色の心理的効果について学ぶ</li> <li>・ カラーユニバーサルデザインについて学ぶ</li> <li>・ 配色を中心としたより実践的な知識を身につける</li> <li>・ 単元に応じて演習を行い、授業内容の理解を体験的に深める</li> </ul>		
キーワード	光、色、色彩、配色、理論、色彩心理、カラーユニバーサルデザイン		
授業計画	第 1 回 オリエンテーション、色とは何か 第 2、3 回 色とは何か 視覚と色、色の見え方の不思議 第 4～8 回 色を記録、伝達する方法 色の名前、色の三属性、混色、代表的な表色系（顕色系・混色系） 第 9、10 回 色のユニバーサルデザイン 第 11～13 回 色の効果 第 14 回 色彩理論 第 15～17 回 配色のルール 第 18 回 まとめ 第 19 回 期末試験 第 20 回 試験解説		
教科書、教材等	「カラーデザインの教科書」（日本カラーマイスター協会）、自作プリント・スライド		
授業の形式	自作プリントと教材に従って授業を進める。		
成績評価の方法	期末試験、演習課題、授業への参加度（積極性）で評価する。		
履修の留意点	色彩検定等を目指す場合は時間の関係上授業で触れない内容についても自主的に学んでおくこと		
参考・推薦図書等	「色彩検定 公式テキスト UC 級」監修（公社）色彩検定協会		



年度	2021	科目番号	4014
科目名	デザイン材料	科目種別	専門
科目名：英語	Materials for Design	所属	産業デザイン科
担当教員名	阿部 優子		
開講学期／単位数	Ⅱ期／2 単位(20 回)		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各分野のデザインで使用される材料について、その性質と製品への活用について理解し、適切な材料の選択と、その加工技術についての知識を習得し、制作に活かすことができる</li> </ul>		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身の回りにある様々な工業製品がどのような材料で構成されているかを学ぶ</li> <li>・ 材料ごとにそれぞれの組成の違いによる特徴や性質、分類等について理解を深める</li> <li>・ 材料工学的な知識だけに留まらず、製品デザインの観点から、製品の使用目的やコスト、市場における製品の位置づけ等を考慮しつつ、企画やデザインの段階でどのような基準で材料を選択すべきかを考察を進める</li> </ul>		
キーワード	有機材料、無機材料		
授業計画	<p>第 1 回 授業内容の紹介 第 2 回 デザイン材料の選択</p> <p>【有機材料の特性と活用】</p> <p>第 3～4 回 塗料と色材 第 5 回 紙類 第 6～7 回 繊維・皮革類 第 8～10 回 木材・木質系材料 第 11～12 回 合成樹脂材料 第 13 回 接着剤 第 14 回 その他の有機材料</p> <p>【無機材料の特性と活用】</p> <p>第 15～16 回 金属材料 第 17 回 セラミック材料 第 18 回 ガラスとその他の無機材料</p> <p>第 19 回 材料選択と活用の事例 第 20 回 期末試験</p>		
教科書、教材等	自作プリント・スライド等		
授業の形式	座学（担当別）		
成績評価の方法	期末試験、レポート、授業への取り組み（積極性）による評価。		
履修の留意点			
参考・推薦図書等			

年度	2021	科目番号	4015
科目名	デザイン史	科目種別	専門
科目名：英語	History of Design	所属	産業デザイン科
担当教員名	北條 恭子		
開講学期／単位数	IV期／2単位(20回)		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業革命以降のデザイン運動の経緯とその意義を理解できる</li> <li>・ 産業デザインの歴史について学び、時代背景を踏まえながら各時代の人物とそれらの作品についての意義を考えることができる</li> <li>・ デザイン史を通して得た知識をもとに自らの考察を論ずることができる</li> </ul>		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史上の優れたデザインと著名デザイナーの活動とその作品群を学ぶ</li> <li>・ デザインが生まれた背景と歴史的な出来事との関係を学ぶ</li> <li>・ 機械生産の発達、工業製品の大量生産とともに生じたデザインをめぐる諸問題について学ぶ</li> <li>・ 様々なスタイルの変化を伴いながらその後の産業全体にどのような影響を与え、人々の生活がどう変化していったかについて考察を行う</li> </ul>		
キーワード	デザイン、工芸、建築、工業、デザイン様式、西洋美術史、日本美術史		
授業計画	第 1 回 ガイダンス・近代デザインの兆し 第 2 回 ウィリアム・モリス 第 3 回 アーツ・アンド・クラフツ運動 第 4～6 回 アール・ヌーヴォー 第 7～8 回 ドイツ工作連盟他 第 9～11 回 バウハウス 第 12 回 アール・デコ 第 13 回 デ・ステール 第 14 回 ロシア・アバンギャルド 第 15 回 アメリカのインダストリアルデザイン 第 16～17 回 現代のデザイン 第 18 回 まとめ 第 19 回 期末試験 第 20 回 解説		
教科書、教材等	「[カラー版]世界デザイン史」阿部公正 美術出版社 発行、自作プリント・スライド等		
授業の形式	教科書に従って授業を進める。		
成績評価の方法	期末試験及びレポート、授業への参加度（積極性）で評価する。		
履修の留意点			
参考・推薦図書等			

年度	2021	科目番号	4016
科目名	生産工学	科目種別	専門
科目名：英語	Production Engineering	所属	産業デザイン科
担当教員名	田中 俊行		
開講学期／単位数	IV期／2 単位（20 回）		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ものを生産する基本的プロセスと管理について、その概念から応用まで、ものづくりのシステムについて知ることができる</li> <li>・製品デザイン活動における、生産条件について考えることができる</li> </ul>		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デザイン開発において重要な、生産現場の「生産性」を学ぶ</li> <li>・「生産」に対する認識を深めるため、生産品に対する製造条件や、製造方法、生産上の管理項目、管理手法を、実例紹介を交えながら学ぶ</li> </ul>		
キーワード	生産技術、生産性、効率、トヨタ生産方式、環境問題		
授業計画	第 1 回 講義内容の紹介 第 2～4 回 ものづくりの歴史 第 5～7 回 生産活動とその技術 第 8～9 回 産業競争とデザイン 第10～13 回 社会や環境問題について 第 14～15 回 生産の計画と準備 第 16～17 回 生産システム 第 18 回 まとめ 第 19 回 期末試験 第 20 回 試験解説		
教科書、教材等	自作プリント		
授業の形式	自作プリントに従って授業を進める。		
成績評価の方法	期末試験（レポート）及び授業への参加度（積極性）で評価する。		
履修の留意点			
参考・推薦図書等			

年度	2021	科目番号	4017
科目名	安全衛生工学	科目種別	専門
科目名：英語	Knowledge for Safety and Health	所属	産業デザイン科
担当教員名	田中 俊行		
開講学期／単位数	I 期／2 単位(20 回)		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 快適な職場環境を形成するための基礎的な知識を習得し、職場における労働者の安全と健康を確保する事ができる</li> </ul>		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健全な職業生活の妨げとなる災害について事例を交えて学ぶ</li> <li>・ 近年、健全な労働を妨げる事として社会的問題となっているメンタルヘルスについてその予防と対策について学ぶ</li> </ul>		
キーワード	労働 災害 安全 衛生 メンタルヘルス		
授業計画	第 1 回 講義内容の紹介 第 2～3 回 災害発生のメカニズム 第 4～7 回 労働災害 第 8～9 回 安全対策の基本 第 10 回 実習室チェック 第11～12回 安全衛生の法規と管理 第13～14回 メンタルヘルス 第15～17回 環境汚染と地球環境問題 第 18 回 まとめ 第 19 回 期末試験 第 20 回 試験解説		
教科書、教材等	自作プリント・スライド等		
授業の形式	座学・演習		
成績評価の方法	期末試験、レポート、授業への参加度（積極性）による評価。		
履修の留意点			
参考・推薦図書等			

年度	2021	科目番号	4018
科目名	デザイン関係法規	科目種別	専門
科目名：英語	Law Related to Design (Intellectual Property Right)	所属	産業デザイン科
担当教員名	金田 麻由美		
開講学期／単位数	IV期／2単位（20回）		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 創作活動あるいはデザイン業務における知的財産に関する知識の必要性が理解できる</li> <li>・ 知的財産権の概要を説明できる</li> <li>・ 自らの権利を守る方法が説明できる</li> <li>・ 他者の権利侵害とならない知的財産の利用方法が理解できる</li> </ul>		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 知的財産権の細かな分類の説明</li> <li>・ それぞれの権利の効力の解説</li> <li>・ 特許プラットフォームでの商標・意匠・特許検索</li> <li>・ 実際に起こった訴訟事例等の紹介</li> <li>・ 他者の知的財産を利用する場合のガイドラインの解説</li> </ul>		
キーワード	知的財産、著作権、商標権、意匠権、特許権、不正競争防止法、肖像権、権利侵害		
授業計画	第 1 回 知的財産権の概要 第 2～4 回 著作権 第 5,6 回 商標権 第 8,9 回 意匠権 第 10 回 商標・意匠検索 第 11,12 回 特許・実用新案権 第 13 回 不正競争防止法 第 14 回 肖像権 第 15,16 回 判例紹介 第 17～19 回 事例研究 第 20 回 期末試験		
教科書、教材等	すごいぞ！はたらく知財 14歳からの知的財産入門（出版：晶文社）、自作プリント		
授業の形式	自作プリントに従って授業を進める。		
成績評価の方法	期末試験及びレポート、授業への参加度（積極性）により評価する。		
履修の留意点	授業にあたり、知的財産権関係の話題を収集する習慣を身に付けておくこと。		
参考・推薦図書等			

年度	2021	科目番号	4019
科目名	製品デザイン論 I	科目種別	専門 (生活製品必取得)
科目名 : 英語	Theory of Product Design I	所属	産業デザイン科
担当教員名	氏家 亨		
開講学期/単位数	Ⅱ期/2単位(20回)		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 製品デザインの位置づけと意味を理解できる</li> <li>・ 基本的なデザイン開発ができる</li> <li>・ 製品デザインワークの基本的考え方ができる</li> <li>・ デザインプロセスと各作業が理解できる</li> </ul>		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 製品デザインのプロセスを学ぶ</li> <li>・ 製品開発の様々な手法や考え方のルールを学ぶ</li> <li>・ 情報を集め処理するための方法などを学ぶ</li> <li>・ 開発のためのツールを学ぶ</li> <li>・ デザイナーの在り方を学ぶ</li> </ul>		
キーワード	デザイン アイデア 表現 プレゼンテーション		
授業計画	第 1 回 講義の概要 第 2 回 ワークフロー 第 3 回 ヒアリングと目的・ゴール設定 (生活製品) 第 4 回 ヒアリングと目的・ゴール設定 (情報伝達) 第 5 回 調査・分析・考察 第 6 回 アイデア 第 7 回 コンセプト-1 第 8~11 回 アイデア展開・手法、演習 第 12 回 問題と課題、定義、仮説、作業分解 第 13 回 試作・モックアップ・プロトタイプ 第 14~15 回 デザイン思考 第 16 回 プレゼンテーション 第 17 回 ユーザー中心のデザイン (UCD) ユニバーサルデザイン (UD) 、ユーザーインターフェース (UI) 、ユーザー体験 (UX) 、人間工学や認知 第 18 回 環境や社会とデザイン 第 19~20 回 まとめ		
教科書、教材等	自作プリント・スライド等		
授業の形式	座学・演習		
成績評価の方法	レポート、授業への参加度 (積極性) による評価。		
履修の留意点			
参考・推薦図書等			

年度	2021	科目番号	4020
科目名	製品デザイン論 II	科目種別	専門
科目名：英語	Theory of Product Design II	所属	産業デザイン科
担当教員名	金田 麻由美/氏家 亨/阿部 優子/田中 俊行/小岩 真佳/北條 恭子		
開講学期/単位数	II期/2単位(20回)		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デザインプロセスにおける各作業ができる</li> <li>・ デザインを一人で遂行できる</li> </ul>		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人々の役に立つ製品デザインとは何かを学ぶ</li> <li>・ 各コースにおけるデザイン開発手法や考え方のルールを学ぶ</li> <li>・ 各コースにおけるデザイン開発のプロセスとその手法を学ぶ</li> <li>・ 各コースにおけるデザイン開発のツールを効率よく駆使することを学ぶ</li> <li>・ 各コースにおけるデザイナーの在り方を学ぶ</li> </ul>		
キーワード	デザインプロセス CAD 3DCG DTP 文字組 UI UX イメージワーク 観察		
授業計画	<p>【生活製品コース】</p> <p>第 1 回 授業内容の紹介  第 2 回 生活製品のデザインとは  第 3～5 回 CADの概要と演習  第 6～8 回 デザイン制作に使用する道具と製作作業  第 9～12 回 写真撮影  第 13～16 回 観察スケッチ  第 17～19 回 製品デザインの事例  第 20 回 まとめ</p> <p>【情報伝達コース】</p> <p>第 1 回 授業内容の紹介  第 2～5 回 観察スケッチ  第 6～8 回 観察スケッチ  第 9～12 回 写真撮影  第 13～15 回 イメージワーク  第 16～19 回 イメージワークを基にした制作  第 20 回 まとめ</p>		
教科書、教材等	自作プリント・スライド等		
授業の形式	コース別座学・演習		
成績評価の方法	レポート、授業への参加度（積極性）による評価。		
履修の留意点			
参考・推薦図書等			

年度	2021	科目番号	4021
科目名	実践デザイン論	科目種別	専門
科目名：英語	Theory of Practical Design	所属	産業デザイン科
担当教員名	金田 麻由美／氏家 亨／阿部 優子／田中 俊行／小岩 真佳／北條 恭子		
開講学期／単位数	Ⅲ期／2 単位(20 回)		
授業の到達目標	・ 各デザイン分野の実践的なデザイン開発手法が理解できる		
授業の概要	<p>【生活製品コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 製品デザインの実践的なプロセスと手法について学ぶ</li> </ul> <p>【情報伝達コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種のマスメディアやインターネットなど、媒体における広告の特徴とその実践的な企画手法について学ぶ</li> </ul>		
キーワード	製品計画 プロトタイプ 広告 媒体 マーケティング		
授業計画	<p>【生活製品コース】</p> <p>第 1 回 授業内容の紹介</p> <p>第 2～7 回 生活の製品デザイン①</p> <p>第 8～13 回 生活の製品デザイン②</p> <p>第 14～19 回 生活の製品デザイン③</p> <p>第 20 回 まとめ</p> <p>【情報伝達コース】</p> <p>第 1 回 授業内容の紹介</p> <p>第 2～19 回 広報・広告企画演習（企画立案、制作）</p> <p>第 20 回 まとめ</p>		
教科書、教材等	自作プリント・スライド等		
授業の形式	コース別座学・演習		
成績評価の方法	レポート、授業への参加度（積極性）による評価。		
履修の留意点			
参考・推薦図書等			



年度	2021	科目番号	4022
科目名	視覚伝達デザイン	科目種別	専門 (情報伝達必取得)
科目名 : 英語	Theory of Visual Communication Design	所属	産業デザイン科
担当教員名	金田 麻由美		
開講学期/単位数	Ⅱ期/2単位 (20回)		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 視覚伝達の目的や手段を理解できる</li> <li>・ 目的に応じた適切な視覚伝達手段を用いることができる</li> </ul>		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的なレイアウトのルール解説とその実践</li> <li>・ タイポグラフィ (書体の知識、文字組)</li> <li>・ ピクトグラム・アイコンなどの文字に頼らない伝達手法</li> <li>・ 図版 (写真・イラストレーション) の扱い方</li> <li>・ DTP の概要と印刷の種類</li> <li>・ 視覚伝達媒体の種類</li> </ul>		
キーワード	グラフィック、文字、写真、伝達媒体		
授業計画	第 1 回 授業内容の紹介 第 2 回 デザインの基礎-1 第 3 回 デザインの基礎-2 第 4 回 デザインの基礎-3 第 5 回 デザインの基礎-4 第 6 回 デザインの基礎-5 第 7 回 デザインの基礎-6 第 8 回 タイポグラフィ-1 第 9 回 タイポグラフィ-2 第 10 回 タイポグラフィ-3 第 11 回 ピクトグラム-1 第 12 回 ピクトグラム-2 第 13 回 ピクトグラム-3 第 14 回 図版-1 第 15 回 図版-2 第 16 回 印刷・DTP 第 17 回 視覚伝達媒体-1 第 18 回 視覚伝達媒体-2 第 19 回 期末試験 第 20 回 まとめ		
教科書、教材等	自作プリント、なるほどデザイン (出版:エムディエヌコーポレーション)、レイアウト、基本の「き」 (出版:グラフィック社)		
授業の形式	自作プリントに従って授業を進める。		
成績評価の方法	期末試験及びレポート、授業への参加度 (積極性) により評価する。		
履修の留意点	デザイン概論の内容を理解していることを前提として進める。		
参考・推薦図書等			

年度	2021	科目番号	4023
科目名	製品計画論	科目種別	専門（生活製品必取得）
科目名：英語	Theory of Product Planning	所属	産業デザイン科
担当教員名	氏家 亨		
開講学期／単位数	Ⅲ期／2 単位(20 回)		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マーケティングの基本的な流れが理解できる</li> <li>・デザイン思考の基本的な内容を理解できる</li> <li>・ユーザーを中心としたデザインの考え方ができる</li> <li>・ユーザーを意識した製品、商品・サービスの企画立案ができる</li> <li>・内部環境、外部環境の分析ができる</li> <li>・産業、経済の動向を踏まえた考え方ができる</li> <li>・アイデア手法を活用しアイデアの展開ができる</li> <li>・目的に応じたコンセプト設定ができる</li> <li>・製品、商品・サービスのプロモーションができる</li> <li>・広告戦略、販売戦略などを考えられる</li> <li>・卒業研究のテーマ策定、企画立案ができる</li> </ul>		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユーザーやマーケット（市場）を考慮した、製品、商品・サービス開発の重要性を学ぶ</li> <li>・ユーザーやマーケット（市場）を考慮した、広告・宣伝、広報、販売の流れを学ぶ</li> <li>・デザイン思考とマーケティングの基礎的な知識を学ぶ</li> <li>・マーケティングの基本的な手法を学ぶ</li> <li>・デザイン思考の流れを学ぶ</li> <li>・デザイン思考やマーケティングを活用し、製品、商品・サービスの企画を立案する流れを学ぶ</li> <li>・製品、商品・サービスの企画の事例を学ぶ</li> </ul>		
キーワード	デザイン思考、マーケティング、製品デザイン、コンセプト、購買行動、消費者心理		
授業計画	第 1 回 授業内容の紹介（オリエンテーション） 第 2～4 回 デザイン思考 第 5 回 マーケティングとは 第 6 回 調査・環境分析 第 7～8 回 STP 第 9～12 回 マーケティングミックス（4つのCと4つのP） 第 13 回 戦略と戦術、コンセプト 第 14 回 顧客の満足 第 15 回 社会的責任 第 16 回 現在とこれからのマーケティング 第 17 回 デジタルマーケティング 第 18 回 マーケティングの用語 第 19,20 回 まとめ		
教科書、教材等	デザイン思考が世界を変える（著：ティム・ブラウン 出版：早川書房）、14 歳からのマーケティング（著：中野明 出版：総合法令出版）、自作プリント		
授業の形式	自作プリントに従って授業を進める。		
成績評価の方法	レポート及び授業への参加度（積極性）で評価する。		
履修の留意点			
参考・推薦図書等			

年度	2021	科目番号	4024
科目名	感性工学	科目種別	専門
科目名：英語	Kansei Engineering	所属	産業デザイン科
担当教員名	小岩 真佳		
開講学期／単位数	Ⅲ期／2 単位(20 回)		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人間とその感性が理解できる</li> <li>・ 感性工学の手法を活用し、より快適なデザインができる</li> </ul>		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ものづくりにおける人ともとの関係を学ぶ</li> <li>・ ものに対して快適性を実現する必要性を学ぶ</li> <li>・ 人間とその感性について工学的な知識を習得する</li> <li>・ 感性工学をデザイン開発に導入するための手法を学ぶ</li> </ul>		
キーワード	感性、人間工学、ライフスタイル、エラー		
授業計画	第 1 回 感性工学の概要 第 2 回 感性工学と人間工学 第 3 回 人体と動作 第 4～6 回 人間・機械系 第 7 回 使いやすさ 第 8～9 回 ヒューマン・エラー 第10～11 回 エクスペリエンスデザイン 第12～14 回 評価方法：SD 法、実習 第 15 回 評価方法：ラフ集合 第 16 回 インターフェースデザインの心理学 第 17 回 五感のデザイン、知覚 第 18 回 試験対策 第 19 回 期末試験 第 20 回 まとめ		
教科書、教材等	自作プリント		
授業の形式	座学・演習		
成績評価の方法	期末試験、レポート、授業への参加度（積極性）による評価。		
履修の留意点			
参考・推薦図書等			

年度	2021	科目番号	4025
科目名	材料加工法	科目種別	専門
科目名：英語	Materials Processing Method	所属	産業デザイン科
担当教員名	金田 麻由美／氏家 亨／阿部 優子／田中 俊行／小岩 真佳／北條 恭子		
開講学期／単位数	Ⅱ期／2単位（20回）		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デザイン材料で学んだ個々の材料の組成や特性を踏まえ、実際に加工する際の技術的な方法や加工時の特性、加工方法を知っている</li> <li>・ 製品デザインにおける材料選定の知識だけでなく、製造工程で必要とされるこれらの能力を養うことにより、より効率的なデザインができる</li> </ul>		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デザイン制作実習の準備のための講義として位置づけ、デザイン材料で学んだ個々の素材について、材料が製品として形作られる加工工程を講義する。また、加工に使用される各種工具、工作機械の使用方法についても講義する</li> </ul> <p>【生活製品コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 製品に用いられる各種材料とその成型・加工の方法について学ぶ</li> </ul> <p>【情報伝達コース】</p> <p>(印刷専攻)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ パッケージやPOP等の広告手法で用いられる材料の加工方法について学ぶ (ウェブ専攻)</li> <li>・ ウェブデザインで用いられる表現手法について学ぶ</li> </ul>		
キーワード	成型加工、プラスチック、CSS、スクリプト、印刷、用紙		
授業計画	<p>【生活製品コース】</p> <p>第 1 回 授業内容の紹介</p> <p>第 2～7 回 素材の特性</p> <p>第 8～13 回 素材の加工</p> <p>第 14～19 回 成型</p> <p>第 20 回 まとめ</p> <p>【情報伝達コース】</p> <p>(印刷専攻)</p> <p>第 1 回 授業内容の紹介</p> <p>第 2～10 回 紙と印刷技術</p> <p>第 11～19 回 紙以外の素材</p> <p>第 20 回 まとめ</p> <p>(ウェブ専攻)</p> <p>第 1 回 授業内容の紹介</p> <p>第 2～5 回 画像ファイル</p> <p>第 6～12 回 CSS 活用</p> <p>第 13～19 回 スクリプトによる表現</p> <p>第 20 回 まとめ</p>		
教科書、教材等	自作プリント・スライド等		
授業の形式	コース別座学・演習		
成績評価の方法	期末試験、レポート、授業への参加度（積極性）による評価。		
履修の留意点			
参考・推薦図書等			

年度	2021	科目番号	4026
科目名	環境デザイン	科目種別	専門
科目名：英語	Theory of Environmental Design	所属	産業デザイン科
担当教員名	小岩 真佳		
開講学期／単位数	IV期／2 単位 (20 回)		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人々が生活する場が環境デザインの領域であることを知る</li> <li>・ それらの様々な関係性が理解できる</li> <li>・ 「関わり」と「快適」をキーワードとして考察し、個々のデザインに応用できる</li> </ul>		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ インテリアデザイン、建築デザイン、ランドスケープデザインなどの領域について現状を学ぶ</li> <li>・ それぞれの関連性や問題点を考察する</li> <li>・ 演習を通じてデザインの可能性や自らのデザインとの関わりを模索する</li> </ul>		
キーワード	インテリア、建築、空間デザイン、都市、ランドスケープ、コミュニティ		
授業計画	第 1 回 オリエンテーション／私の原風景 第 2～3 回 インテリア 第 4～6 回 照明・住宅・間取り 第 7～8 回 商業空間のデザイン 第 9 回 ディスプレイデザイン 第 10 回 公共空間のデザイン 第 11 回 サインデザイン 第 12 回 ランドスケープデザイン 第 13 回 都市・公園 第 14 回 景観デザイン 第 15 回 サステイナブルデザイン 第 16 回 コミュニティデザイン 第 17 回 これからの環境デザイン 第 18 回 まとめ 第 19 回 期末試験 第 20 回 期末試験解説		
教科書、教材等	自作プリント		
授業の形式	自作プリントに従って授業を進める。		
成績評価の方法	期末試験及びレポート、授業への参加度（積極性）による評価。		
履修の留意点			
参考・推薦図書等			

年度	2021	科目番号	4027
科目名	視覚伝達計画	科目種別	専門（情報伝達必取得）
科目名：英語	Planing for Visual Communication Design	所属	産業デザイン科
担当教員名	金田 麻由美		
開講学期／単位数	Ⅲ期／2 単位（20 回）		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報・広告等の情報伝達における視覚伝達計画の必要性について理解できる</li> <li>・ 視覚伝達計画の具体的な提案ができる</li> </ul>		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 視覚伝達計画の概要、具体例紹介</li> <li>・ 視覚伝達計画の必要性</li> <li>・ 視覚伝達計画の流れ</li> <li>・ 視覚による心理的な影響について</li> <li>・ 視覚伝達に関わる要素（色彩、形、コピー、図版、映像など）</li> <li>・ 視覚伝達計画の事例を学ぶ</li> </ul>		
キーワード	企業、ブランド、CI、ロゴマーク、ブランディング、情報伝達、広告、広報		
授業計画	第 1 回 講義内容の紹介 第 2 回 視覚伝達とは 第 3,4 回 視覚伝達計画の流れ 第 5,6 回 情報伝達に関わる要素 第 7,8 回 視覚と心理 第 9,10 回 イメージの具現化 第 11,12 回 情報と対象者と媒体の関係 第 13～18 回 現状調査（CI, VI, ブランディング, 広告, 広報） 第 19,20 回 まとめ、期末試験		
教科書、教材等	自作プリント		
授業の形式	自作プリントに従って授業を進める。		
成績評価の方法	期末試験及びレポート、授業への参加度（積極性）により評価する。		
履修の留意点	日頃から広告などの観察をすること。		
参考・推薦図書等			

年度	2021	科目番号	4028
科目名	伝統工芸論	科目種別	専門
科目名：英語	Knowledge of Traditional Craft	所属	産業デザイン科
担当教員名	田中 俊行		
開講学期／単位数	Ⅲ期／2 単位(20 回)		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工芸および工芸と生活のかかわりについて知っている</li> <li>・ 岩手県を中心とした伝統的工芸品産業の歴史及び製品、技術等を知っている</li> <li>・ 現状における課題について理解できる</li> <li>・ 工芸の役割と問題解決のための具体的な提案ができる</li> </ul>		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工芸全般の歴史的環境、本質と生活とのかかわりを学ぶ</li> <li>・ 岩手県を中心とした日本の伝統的工芸品産業の歴史と製品を知る</li> <li>・ 現状における課題を把握することにより、工芸に対する知識と理解を深める</li> </ul>		
キーワード	伝統工芸、工芸史、岩手 漆		
授業計画	第 1 回 授業内容の紹介 第 2～3 回 工芸史 第 4～9 回 日本の伝統的工芸品について 1 第 10 回 漆工芸の基礎 第11～18 回 日本の伝統的工芸品について 2 第 19 回 岩手の伝統工芸について 第 20 回 期末試験		
教科書、教材等	自作プリント・スライド等		
授業の形式	座学・演習		
成績評価の方法	期末試験及びレポート、授業への参加度（積極性）による評価する。		
履修の留意点			
参考・推薦図書等			

年度	2021	科目番号	4029
科目名	造形実習	科目種別	専門
科目名：英語	Practical Training for Design Composition	所属	産業デザイン科
担当教員名	阿部 優子／氏家 亨／田中 俊行		
開講学期／単位数	I 期／4 単位（40 回）		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平面上での要素構成ができる</li> <li>・ 3次元立体の面構成ができる</li> <li>・ 基礎的造形力をビジュアルおよび立体で表現できる</li> </ul>		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平面上でのパターン構成からユニットによる立体構成までを制作する</li> <li>・ 形を創造する工程を学ぶ</li> <li>・ 平面構成においては、造形論で学習した内容を実践することで理解を深める</li> <li>・ 立体構成においては、紙、粘土等の材料を使用することにより、その加工手順や加工技術を理解する</li> </ul>		
キーワード	素材、工程、技術		
授業計画	第 1 回 講義内容の紹介 第 2～8 回 平面構成1（線による構成） 第 9～12 回 平面構成2（複合課題） 第 13～18 回 立体構成1（紙による構成） 第 19～26 回 立体構成2（粘土による構成） 第 27～32 回 平面構成3（文字の構成） 第 33～40 回 立体構成3（スタイロフォームによる構成）		
教科書、教材等	当大学校が支給する材料		
授業の形式	実習		
成績評価の方法	課題制作物、進捗度合等を基に総合的に評価する。		
履修の留意点	実習に適した服装とする。立体作品の提出は、作品と画像データとする。		
参考・推薦図書等			



年度	2021	科目番号	4030
科目名	デッサン	科目種別	専門
科目名：英語	Dessin	所属	産業デザイン科
担当教員名	阿部 優子		
開講学期／単位数	I期／3単位(30回)		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>あらゆる造形行為の基礎となる物の構造、形態、質感、空間を適切に観察し、基礎的な能力を養い、描写することができる</li> </ul>		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉛筆デッサンを中心に対象を観察して正確に描写する訓練を行う</li> <li>実物を見なくてもイメージしたものが表現できる描写力を身につける</li> </ul> 基礎編 鉛筆の削り方、描画方法、構図、構造理解 応用編①細密表現、空間表現 応用編②想定表現		
キーワード	構造、形態、質感、空間		
授業計画	第 1～2 回 オリエンテーション・デッサン基礎 第 3～8 回 幾何形石膏模型デッサン 第 9～16 回 静物デッサン 第 17～20 回 屋外デッサン 第 21～26 回 空間デッサン 第 27～30 回 想定デッサン		
教科書、教材等	自作プリント、画材		
授業の形式	実習		
成績評価の方法	作品課題および制作レポート、授業への積極性で評価する。		
履修の留意点	入学試験時に使用した鉛筆デッサン用具を使用する。		
参考・推薦図書等			

年度	2021	科目番号	4031
科目名	色彩実習	科目種別	専門（必取得）
科目名：英語	Practical Training for Color	所属	産業デザイン科
担当教員名	北條 恭子		
開講学期／単位数	I期／4単位(40回)		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「色彩学」で学んだ理論に基づいた課題制作ができる</li> <li>・ 相手の立場をふまえて客観的な視点で配色を行うことができる</li> <li>・ 様々な配色トレーニングで感覚を養い、課題制作に活かすことができる</li> <li>・ 「仕上がりの美しさ」を意識できる素養を身につける</li> </ul>		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 色彩の三属性の理論を用いた検証・課題制作</li> <li>・ 配色効果の理論を用いた検証・課題制作</li> <li>・ 対比の理論を用いた検証・課題制作</li> <li>・ 混色の理論を用いた検証・課題制作</li> <li>・ 用具の使用法を含めた制作技法の習得</li> </ul>		
キーワード	色、色彩、理論、混色、素材、配色		
授業計画	第1～3回 オリエンテーション、モザイクアート（着色練習） 第4～10回 色彩構成 第11～14回 色の分解と再構築 第15～22回 ポスタリゼーション（無彩色） 第23～28回 ポスタリゼーション（有彩色） 第29～40回 色のイメージ表現（理論的配色計画）		
教科書、教材等	自作プリント、彩色用具、「色彩 造形のたのしさ」監修（財）日本色彩研究所		
授業の形式	課題作品制作による実習		
成績評価の方法	作品課題および課題レポート、授業への参加度（積極性）にて評価する		
履修の留意点	画材は初回のみ各自で用意。その他の用具は、大学校のものを使用。		
参考・推薦図書等			

年度	2021	科目番号	4032
科目名	デザイン製図	科目種別	専門
科目名：英語	Drafting for Design	所属	産業デザイン科
担当教員名	田中 俊行		
開講学期／単位数	Ⅱ期／2 単位(20 回)		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 製図の基本的な知識と図法表現を知っている</li> <li>・ 立体と図面の関係が理解できる</li> <li>・ 三面図から投影図が描ける</li> <li>・ 投影図から三面図が作図できる</li> <li>・ 製図用具を使うことができる</li> </ul>		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各投影法、製図通則について学ぶ</li> <li>・ 演習課題により、基礎的な技術と表現方法を学ぶ</li> <li>・ 図面と立体の関係を理解する</li> </ul>		
キーワード	製図用具、三面図、投影法		
授業計画	第 1 回 授業内容の紹介 第 2～3 回 立体の平面展開 第 4～14 回 正投影法（三面図） 第 15～16 回 一点透視法と二点透視法 第 17～20 回 等角投影法		
教科書、教材等	自作プリント・図面サンプル		
授業の形式	課題作品制作による実習		
成績評価の方法	提出課題及び実習への参加度（積極性）による評価。		
履修の留意点			
参考・推薦図書等			

年度	2021	科目番号	4033
科目名	マルチメディア実習	科目種別	専門（必取得）
科目名：英語	Practical Training for DTP	所属	産業デザイン科
担当教員名	金田 麻由美／小岩 真佳		
開講学期／単位数	I 期／4 単位（40 回）		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パーソナルコンピュータの基本操作ができる</li> <li>・ 各種アプリケーションを操作できる</li> <li>・ DTP で印刷物等のデータを作成できる</li> </ul>		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Macintosh の基本操作</li> <li>・ Adobe Illustrator の基本操作</li> <li>・ Adobe Photoshop の基本操作</li> <li>・ 課題「印刷物」制作</li> </ul>		
キーワード	Illustrator、Photoshop、画像加工、DTP、印刷、インターネット		
授業計画	第 1,2 回 授業内容の紹介/パソコン・インターネット関係の基本操作 第 3～10 回 Adobe Illustrator の基本操作 第 11～16 回 Adobe Photoshop の基本操作 第 17～20 回 課題「パッケージ」 第 21～28 回 課題「ネームカード（ロゴトレース、文字組）」 第 29～34 回 課題「情報伝達媒体の作成-1（画像加工、文字組、レイアウト）」 第 35～40 回 課題「情報伝達媒体の作成-2（画像加工、文字組、レイアウト）」		
教科書、教材等	世界一わかりやすい Illustrator&Photoshop 操作とデザインの教科書 （出版：(株)技能評論社）		
授業の形式	教科書に従ってソフトウェアの操作方法の解説を行い、演習を行う。		
成績評価の方法	提出課題及び授業への参加度（積極性）にて評価する。		
履修の留意点	Macintosh ならびにコンテンツ制作のためのアプリケーションの使い方の基礎となるので、授業以外の時間にも復習してできるだけ早く使用方法を習得すること。 関連科目：マルチメディア概論		
参考・推薦図書等			

年度	2021	科目番号	4034
科目名	製品デザイン基礎実習 I	科目種別	専門 (必取得)
科目名 : 英語	Basic Design Training I	所属	産業デザイン科
担当教員名	金田 麻由美 / 氏家 亨 / 阿部 優子 / 田中 俊行 / 小岩 真佳 / 北條 恭子		
開講学期 / 単位数	I 期 / 2 単位 (20 回)		
授業の到達目標	・ 各分野の職業現場を体験することにより、職業選択の際の情報の一つとする		
授業の概要	・ それぞれの職種に合った企業等において、5 日間のインターンシップを行う		
キーワード			
授業計画	第 1~20 回 インターンシップ		
教科書、教材等			
授業の形式	現場実習		
成績評価の方法	取り組み (積極性) による評価。		
履修の留意点			
参考・推薦図書等			

年度	2021	科目番号	4035
科目名	製品デザイン基礎実習Ⅱ	科目種別	専門（必取得）
科目名：英語	Basic Design Training Ⅱ	所属	産業デザイン科
担当教員名	金田 麻由美／氏家 亨／阿部 優子／田中 俊行／小岩 真佳／北條 恭子		
開講学期／単位数	Ⅱ期／13単位（130回）		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 製品デザイン論・視覚伝達デザインで学んだ知識をデザイン制作に活かせる</li> <li>・ 各分野におけるアイデアの具現化や検討ができる</li> <li>・ 各種デザイン技法が使用できる</li> </ul>		
授業の概要	<p>【生活製品コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 製品デザインの基本的なプロセスと基礎的な制作手法を修得する</li> </ul> <p>【情報伝達コース】</p> <p>制作における一連の流れ（調査、分析、アイデアスケッチ、制作、プレゼンテーション、まとめ）の実践</p> <p>（印刷専攻）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報量と印刷物の判型・種類の関係を理解する</li> <li>・ 目的に応じた情報整理、イメージ設計、レイアウトを学ぶ</li> <li>・ 印刷物制作の基礎的な制作手法を実践する</li> </ul> <p>（ウェブ専攻）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ウェブサイト制作の基本的な流れを学ぶ</li> <li>・ サイト計画（設計、ワイヤーフレーム、モックアップ）を意識したデザインプロセスを実践する</li> <li>・ クライアントサイドプログラムについて学ぶ</li> <li>・ サーバサイドプログラムについて学ぶ</li> </ul>		
キーワード	企画、アイデア、制作、プレゼンテーション		
授業計画	<p>【生活製品コース】</p> <p>第 1 回 授業内容の紹介</p> <p>第 2 ～ 16回 課題1 仕上げを考慮した制作-1（表面仕上げ・塗装、面取り）</p> <p>第 17 ～ 31回 課題2 仕上げを考慮した制作-2（接着・塗装）</p> <p>第 32 ～ 52回 課題3 「小物入れ」の制作（採寸、製図、製作）</p> <p>第 53 ～ 82回 課題4 「つまむ」のデザイン（成型、鋳物）</p> <p>第 83 ～ 102回 課題5 「こと」を考える（「たべる」のデザイン）</p> <p>第 102～129回 課題6 「こと・もの」を考える、つくる（「丁寧な暮らし」のデザイン）</p> <p>第 130 回 まとめ</p> <p>【情報伝達コース】</p> <p>第 1 回 授業内容の紹介</p> <p>（印刷専攻）</p> <p>第 2 ～ 30回 課題1 見本通りにDTPでデータを作成する（カード、DM、チラシ、記事）</p> <p>第 31 ～ 49回 課題2 指示書を元にDTPでデータを作成する（2つ折りリーフレット）</p> <p>第 50 ～ 89回 課題3 指示書を元にDTPでデータを作成する（InDesignでのカタログ作成）</p> <p>（ウェブ専攻）</p> <p>第 2 ～ 30回 課題1 サイト構築1（HTML5、CSS3）</p> <p>第 31 ～ 49回 課題2 サイト構築2（マルチデバイス、イメージ構築）</p> <p>第 50 ～ 89回 課題3 サイト構築3（HTML5、CSS3、JavaScript、jQuery）</p> <p>（共通）</p> <p>第 90 ～ 115回 課題4 広報のツールのデザイン（企画、制作、プレゼン）</p> <p>第 116～129回 課題5 「伝える」のデザイン</p> <p>第 130 回 まとめ</p>		
教科書、教材等	課題及び自作プリント資料		
授業の形式	コース別の課題制作とプレゼンテーションによる実習		
成績評価の方法	プレゼンテーション、提出課題及び実習への参加度（積極性）による評価。		
履修の留意点			
参考・推薦図書等			

年度	2021	科目番号	4036
科目名	製品デザイン応用実習	科目種別	専門
科目名：英語	Applied Design Training	所属	産業デザイン科
担当教員名	金田 麻由美／氏家 亨／阿部 優子／田中 俊行／小岩 真佳／北條 恭子		
開講学期／単位数	Ⅲ期／19 単位（190 回）		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各分野のデザインにおける幅広い視野と思考力を修得する</li> <li>・ 問題解決のための企画立案ができる</li> <li>・ 制作に必要な情報の収集と活用ができる</li> <li>・ 各種デザイン技法の高度な使い方ができる</li> <li>・ 制作物のプレゼンテーションができる</li> </ul>		
授業の概要	<p>【生活製品コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 製品に求められる社会ニーズを考慮し、応用技法を活用したデザイン制作を修得する</li> </ul> <p>【情報伝達コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報伝達ツールを用い、企画から提案までの実践的な手法について修得する</li> </ul>		
キーワード	企画、アイデア、制作、プレゼンテーション		
授業計画	<p>【生活製品コース】</p> <p>第 1 回 授業内容の紹介 第 190 回 まとめ</p> <p>【情報伝達コース】</p> <p>第 1 回 授業内容の紹介 第 190 回 まとめ</p> <p>(共通)</p> <p>第 2 ～ 30 回 課題 1 自分の「〇〇」を伝えるデザイン 第 31 ～ 70 回 課題 2 興味・関心を促すデザイン 第 71 ～ 110 回 課題 3 社会・環境に関するデザイン 第 111～150 回 課題 4 地域に関するデザイン 第 151～189 回 課題 5 地域の産業に関わるデザイン</p>		
教科書、教材等	課題及び自作プリント資料		
授業の形式	コース別の課題制作とプレゼンテーションによる実習		
成績評価の方法	プレゼンテーション、提出課題及び実習への参加度（積極性）による評価。		
履修の留意点			
参考・推薦図書等			

年度	2021	科目番号	4037
科目名	視覚伝達デザイン実習	科目種別	専門
科目名：英語	Practical Training for Web Design	所属	産業デザイン科
担当教員名	氏家 亨／小岩 真佳／北條 恭子		
開講学期／単位数	Ⅱ期／2単位(20回)		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェブデザイン概論、視覚伝達デザインで学んだことを活用し、より踏み込んだウェブサイトの構築や印刷物の作成ができる</li> <li>・サイト設計、計画を考慮したサイト制作ができる</li> <li>・サイトマップを考えられる</li> <li>・ワイヤーフレームを考えられる</li> <li>・閲覧者を考慮したサイト構成、構築、情報発信ができる</li> <li>・目的に応じた視覚伝達表現ができる</li> <li>・編集の流れを意識した印刷物のページ構成ができる</li> <li>・各自のポートフォリオ(ウェブサイト、印刷物)を作成することができる</li> </ul>		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェブデザイン概論で学んだサイト構築の基本を踏まえ、より踏み込んだサイト構築を行う</li> <li>・視覚伝達デザインで学んだことを踏まえ、サイト閲覧者や印刷物を見る者を考慮したレイアウト、文字組などを行う</li> <li>・サイト構築の計画の立て方を学ぶ</li> <li>・公開・使用を想定したサイト制作</li> <li>・伝えたい内容に応じたページ構成や編集</li> </ul>		
キーワード	ウェブ、サイト、ホームページ、インターネット、HTML、CSS、編集、レイアウト、文字組		
授業計画	第 1 回 授業内容の紹介 第 2 回 サイト設計 -1 (サイトの目的) 第 3 回 CSS レイアウト (Flexbox, Grid) 第 4 回 レスポンシブウェブデザイン 第 5 回 サイト設計 -2 (コンテンツマップ) 第 6 回 サイト設計 -3 (構造設計・ワイヤーフレーム) 第 7 回 サイト設計 -4 (モックアップ) 第 8～18 回 課題「ポートフォリオ(サイト・印刷物)の制作」(計画～レイアウト) 第 19 回 ファイル転送(FTP)、出力・製本 第 20 回 まとめ		
教科書、教材等	Web デザイン基礎入門(著:栗谷幸助 ほか、出版:MdN)、自作プリント		
授業の形式	自作プリント、課題制作で授業を進める。		
成績評価の方法	課題提出作品、授業への参加度(積極性)で評価する。		
履修の留意点			
参考・推薦図書等			



年度	2021	科目番号	4038
科目名	プレゼンテーション実習	科目種別	専門
科目名：英語	Practical Training for Presentation	所属	産業デザイン科
担当教員名	金田 麻由美／氏家 亨／阿部 優子／田中 俊行／小岩 真佳／北條 恭子		
開講学期／単位数	IV期／2 単位 (20 回)		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活製品、情報伝達の各分野において、プレゼンテーションにより制作意図を伝達することができる</li> </ul>		
授業の概要	<p>「卒業研究」とあわせて実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デザインワークにおけるデジタルツールの利用法を修得する</li> <li>プレゼンテーション用アプリケーション操作を学ぶ</li> <li>グラフィックデザイン系アプリケーションやCAD・CGのデータ活用について学ぶ</li> </ul>		
キーワード	卒業研究 プレゼンテーション		
授業計画	第 1 回 授業概要説明 第 2～6 回 MS PowerPoint、Apple Keynote の基本操作 第 7～10 回 演習 第 11 回 デジタルデータの活用 第 12～14 回 MS PowerPoint、Apple Keynote の応用操作 第 15～19 回 演習課題 第 20 回 プレゼンテーション		
教科書、教材等			
授業の形式	「卒業研究」発表におけるプレゼンテーション		
成績評価の方法	作品、プレゼンテーション技法及び授業への参加度（積極性）。		
履修の留意点			
参考・推薦図書等			

年度	2021	科目番号	4039
科目名	モデル制作実習	科目種別	専門
科目名：英語	Practical Training for Modeling	所属	産業デザイン科
担当教員名	金田 麻由美／氏家 亨／阿部 優子／田中 俊行／小岩 真佳／北條 恭子		
開講学期／単位数	Ⅲ期／2 単位 (20 回)		
授業の到達目標	・ デザイン評価のためのモデルやカンブを制作することができる		
授業の概要	<p>「製品デザイン応用実習」とあわせて実施する</p> <p><b>【生活製品コース】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ モデル製作に用いる各種成形技法を修得する</li> </ul> <p><b>【情報伝達コース】</b> (共通)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報伝達にかかる制作物の試作、製作手法を修得する (印刷専攻)</li> <li>・ 印刷技術を活用した製品製作の手法を修得する。(ウェブ専攻)</li> <li>・ プログラミング言語を活用したサイト構築の手法を学ぶ</li> </ul>		
キーワード	モデル制作、デザイン評価		
授業計画	<p><b>【生活製品コース】</b></p> <p>第 1 回 内容の紹介 第 2～5 回 シリコン 第 6～10 回 注型樹脂 第 11～20 回 FRP</p> <p><b>【情報伝達コース】</b> (印刷専攻)</p> <p>第 1 回 内容の紹介 第 2～6 回 シルクスクリーン 第 7～12 回 製本 第 13～20 回 パッケージ、POP 関連 (ウェブ専攻)</p> <p>第 1 回 内容の紹介 第 2～10 回 PHP/MySQL 第 11～15 回 JavaScript 第 16～20 回 ライブラリ、フレームワーク</p>		
教科書、教材等			
授業の形式	「製品デザイン応用実習」とあわせて実施する実習。		
成績評価の方法	作品、技法及び授業への参加度（積極性）。		
履修の留意点	作業に適した服装で授業に臨むこと。		
参考・推薦図書等			

年度	2021	科目番号	4040
科目名	材料加工実習	科目種別	専門
科目名：英語	Practical Training for Material Processing	所属	産業デザイン科
担当教員名	金田 麻由美／氏家 亨／阿部 優子／田中 俊行／小岩 真佳／北條 恭子		
開講学期／単位数	Ⅱ期／2単位(20回)		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 製作目的に最適な材料が選定できる</li> <li>・ 具体的な加工材料にはどのような方法があるかを知っている</li> </ul>		
授業の概要	<p>「製品デザイン基礎実習」とあわせて実施する。</p> <p>【生活製品コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ モデル製作に必要な素材加工の基礎的な知識と技術について修得する</li> </ul> <p>【情報伝達コース】 (共通)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広告物や印刷物、ウェブサイトなど、情報伝達の目的に合った写真撮影技術及び加工技術について修得する</li> </ul>		
キーワード	材料加工、木材、樹脂、金属、写真		
授業計画	<p>【生活製品コース】</p> <p>第 1 回 内容の紹介  第 2～10 回 木材加工  第 11～15 回 樹脂加工  第 16～20 回 金属加工</p> <p>【情報伝達コース】</p> <p>第 1 回 授業内容の紹介  第 2～10 回 写真撮影  第 11～20 回 写真加工</p>		
教科書、教材等			
授業の形式	「製品デザイン基礎実習」とあわせて実施する実習。		
成績評価の方法	作品、技法及び授業への参加度（積極性）。		
履修の留意点	作業に適した服装で授業に臨むこと。		
参考・推薦図書等			

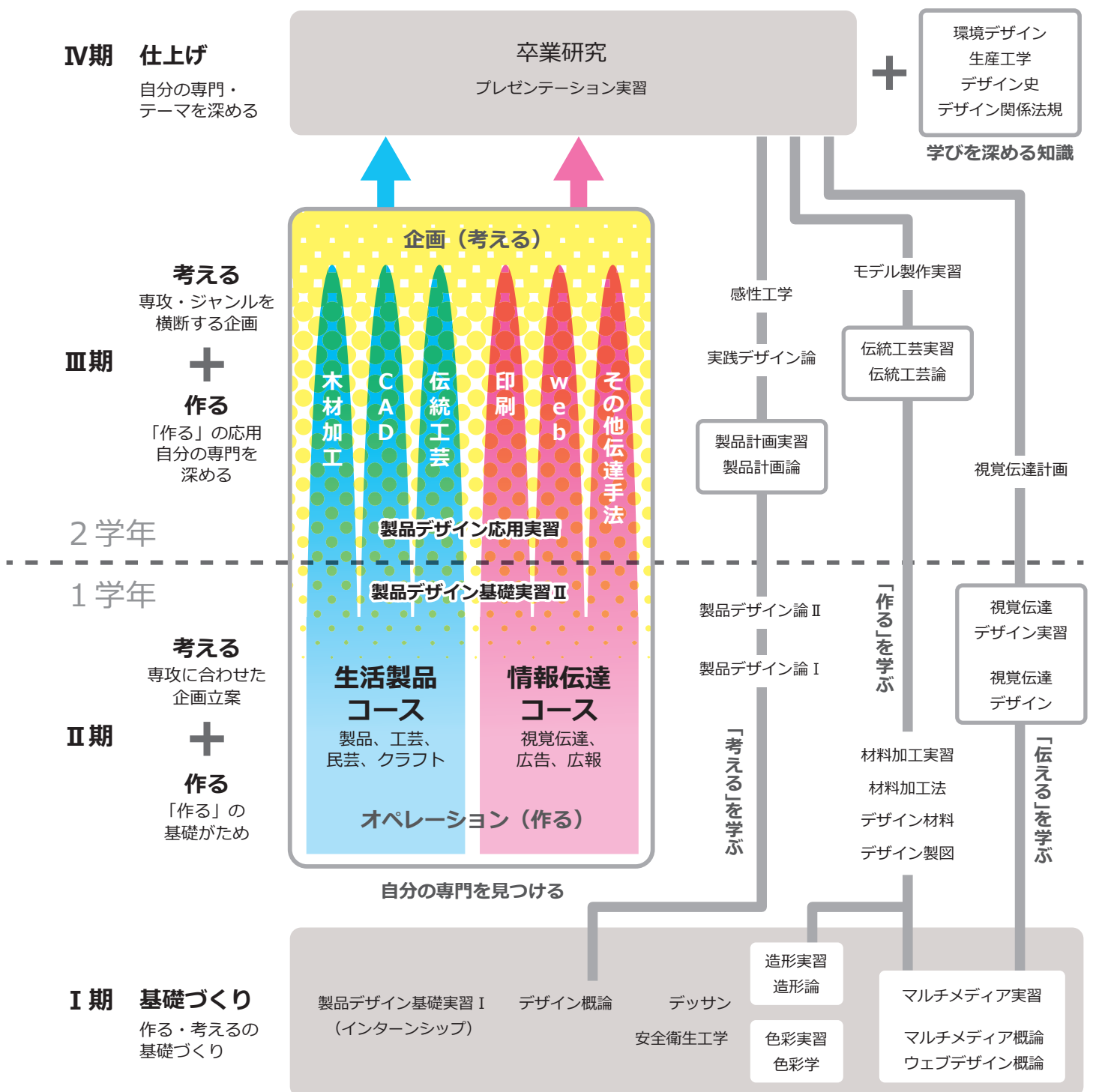
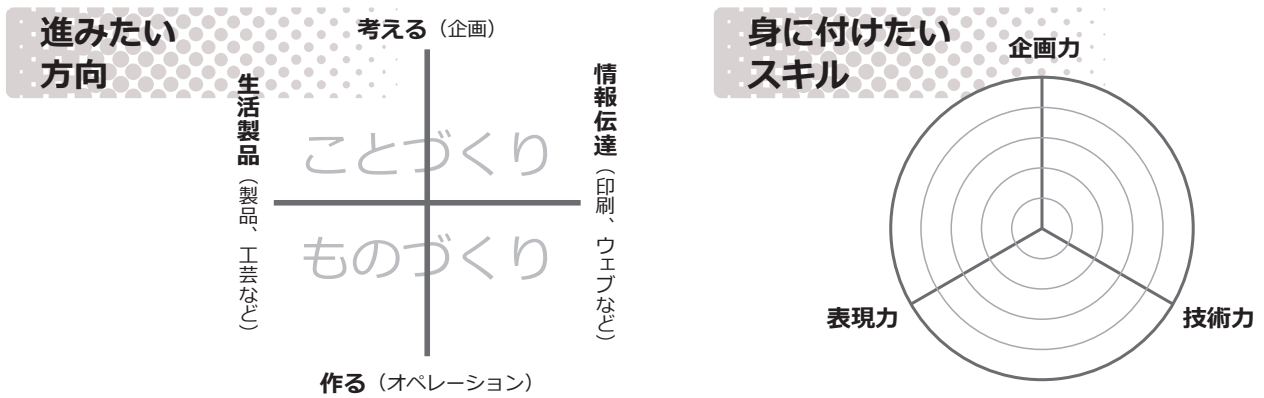
年度	2021	科目番号	4041
科目名	伝統工芸実習	科目種別	専門
科目名：英語	Practical Experience of Traditional Craft works	所属	産業デザイン科
担当教員名	田中 俊行／氏家 亨		
開講学期／単位数	Ⅲ期／4 単位 (40 回)		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 木工、漆工、鉄器（鋳造）の基礎的な作業ができる</li> <li>・ 伝統工芸技術の合理性と機能性、造形の美しさを理解している</li> </ul>		
授業の概要	<p><b>【木工】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 規定の材料を用いて小物入れを製作する</li> <li>・ 木工技法と作業の流れのほか、道具の使用方法や加工技術について修得する</li> </ul> <p><b>【漆工】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 拭き漆技法による塗装を行う</li> <li>・ 漆工技法と作業の流れを学ぶ</li> <li>・ 道具や原材料の扱い方を修得する</li> </ul> <p><b>【鋳造】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低融点金属（ピューター）を用い、鋳造技法によって小物入れのパーツを製作する</li> <li>・ 原型製作、鋳造、仕上げまで、鉄器鋳造と同様の一貫した工程を体験する</li> <li>・ 鋳造技法と作業の流れのほか、道具の扱い方や原材料についても修得する</li> </ul>		
キーワード	伝統工芸、木工、漆工、鉄器、鋳造		
授業計画	<p>第 1 回 実習内容の紹介</p> <p><b>【木工】</b></p> <p>第 2～6 回 木取り、墨付け</p> <p>第 7～16 回 加工</p> <p>第 39～40 回 組み立て</p> <p><b>【漆工】</b></p> <p>第 17～18 回 木地調整</p> <p>第 23～24 回 目止め、下地とぎ、着色</p> <p>第 19～28 回 木地固め、摺り漆実習(外部講師)</p> <p><b>【鋳造】</b></p> <p>第 29～30 回 原型データ作成</p> <p>第 31～34 回 原型製作</p> <p>第 35～38 回 鋳込み・仕上げ作業</p>		
教科書、教材等	課題及び自作プリント資料		
授業の形式	体験型課題制作による実習		
成績評価の方法	提出課題作品及び授業への参加度（積極性）。		
履修の留意点	作業に適した服装で授業に臨むこと。		
参考・推薦図書等			

年度	2021	科目番号	4042
科目名	製品計画実習	科目種別	専門
科目名：英語	Practical Training for Product Planning	所属	産業デザイン科
担当教員名	金田 麻由美／氏家 亨／阿部 優子／田中 俊行／小岩 真佳／北條 恭子		
開講学期／単位数	Ⅲ期／2 単位 (20 回)		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 卒業研究のテーマとして取り組む分野のマーケティングができる</li> <li>・ 卒業研究の企画立案及びテーマの決定ができる</li> </ul>		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 卒業研究テーマ設定のための基礎調査を行う</li> <li>・ 設定したテーマについてプレゼンテーションする</li> </ul>		
キーワード			
授業計画	第 1～10 回 マーケティング 第 11～19 回 企画 第 20 回 プレゼンテーション		
教科書、教材等			
授業の形式	学生 3～4 名を担当グループとする指導担当教員ごとに進める。 必要に応じて進行状況の発表を行う。		
成績評価の方法	卒業研究企画書、プレゼンテーション及び参加度（積極性）による評価。		
履修の留意点			
参考・推薦図書等			

年度	2021	科目番号	4043
科目名	卒業研究	科目種別	専門
科目名：英語	Graduation Works	所属	産業デザイン科補強
担当教員名	金田 麻由美／氏家 亨／阿部 優子／田中 俊行／小岩 真佳／北條 恭子		
開講学期／単位数	IV期／29 単位 (290 回)		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題発見から解決策の構想立案、具体的な提案作成までのデザイン開発ができる</li> <li>・ これまでに学んだ知識と技術・技能をデザインに応用できる</li> <li>・ デザイン成果物のプレゼンテーションができる</li> </ul>		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テーマに関する本調査を行い、調査結果を分析する</li> <li>・ 企画書を作成し今後の計画と共に中間発表会で発表する</li> <li>・ 企画書に基づきデザインとモデル制作を行う</li> <li>・ 研究成果を卒業研究発表会において発表する</li> <li>・ その結果を研究報告書としてまとめ、提出する</li> <li>・ 就職に向けて不足している知識、スキルの増強を図る</li> </ul>		
キーワード			
授業計画	第 1 回 オリエンテーション 第 2～20 回 研究計画の作成 第 21～70 回 調査 第 71～110 回 調査のまとめとデザイン 第 111～120 回 中間発表会 第 121～250 回 デザイン及びモデル製作 第 251～270 回 卒業研究発表会 第 271～290 回 卒業制作作品展 第 290～310 回 報告書作成		
教科書、教材等			
授業の形式	学生 3～4 名を担当グループとする指導担当教員ごとに進める。 必要に応じて進行状況の発表を行う。		
成績評価の方法	作品、研究発表、作品展示及び取り組み（積極性）を総合的に評価		
履修の留意点			
参考・推薦図書等			

# 産業デザイン科 2年間の学びのイメージ

専門教科に取り組みながら、自分の進みたい方向を定め、それに必要なスキルを身に付けていきます。







岩手県立産業技術短期大学校 本校（矢巾キャンパス）  
講義要目 = SYLLABUS =

---

令和3年3月発行

発行 岩手県立産業技術短期大学校  
〒028-3615  
岩手県紫波郡矢巾町大字南矢幅第10地割3番地1  
TEL 019(697)9088(代表)  
FAX 019(697)9089

---